

宣伝会議 3/15 号別冊  
2007年3月5日発行(年2回・春秋発行)通巻27号

# 環境会議

市民、自治体、NPO、学生、企業のための環境コミュニケーション

## 世界の環境は

## 「いま」動く

異常気象、生物、自然、エネルギー  
「不都合な真実」からの警鐘

環境をとりまく8つの誤解 リサイクルから植林まで

政治の挑戦 ビジネス界の取り組み

マンガ、映画、ドキュメンタリー、広告で行動習慣を変える

心を動かすコミュニケーション

2007

春号

spring

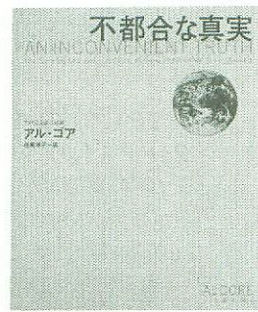




## 『不都合な真実』

アル・ゴア 著  
枝廣淳子 訳

●ランダムハウス講談社  
●2800円(税別)



に指定したこの映画の書籍版が、ついに発行された。

アメリカのクリントン政権を支えた当時の副大統領、アル・ゴア氏は、長年に渡り地球環境問題に真剣に取り組んできた。その彼の真剣さが、力強い言葉、たくさん写真、数々のデータからひしひしと伝わってくる。

巻末には、実際に私達がすぐにでもアクションを起こせる事柄を挙げている。一人ひとりの行動が、地球の環境問題を解決できると訴求する彼の姿勢に、読む側も心が動かされる。

坂本龍一氏や築地哲也氏をはじめとする著名人が自信を持って薦める、待望の一冊である。

アメリカ・ドキュメンタリ

ー映画史上、記録的に大ヒット

とした「不都合な真実」は、もうご覧になっただろうか。

日本の文部科学省が特選作品

## 『2050年脱温暖化社会のライフスタイル』

東京大学 RCAST 脱温暖化 IT 社会チーム、  
電通 消費者研究センター 編

●電通  
●本体1500円(税別)



らの活躍が目覚ましい。まだまだ遠い世界の話のようだが、今後、技術は私たちの生活をどう変えるのだろうか。

この本では、IT技術と共に健全なエコ・ライフを送っている私たちの「50年後の姿」が描かれている。仕事、教育、エンターテイメント、医療……。様々なシーンで、理想的な「脱温暖化社会」が展開されている。文章とイラストで細部まで描かれたその未来の世界は、現在の私たちに、環境活動のヒントを与えてくれているようだ。

温暖化が進み続けている今の社会に、今後IT技術はどう影響するのか。市民や各分野の有識者たちの豊富なアイデアが詰まった、革新の一冊。

自転車にのりながら平均台

を渡って皆を驚かせた「ムラ

タセイサク君」や、以前より

2倍の速度で走れるようにな

った「ASIMO」。最近彼